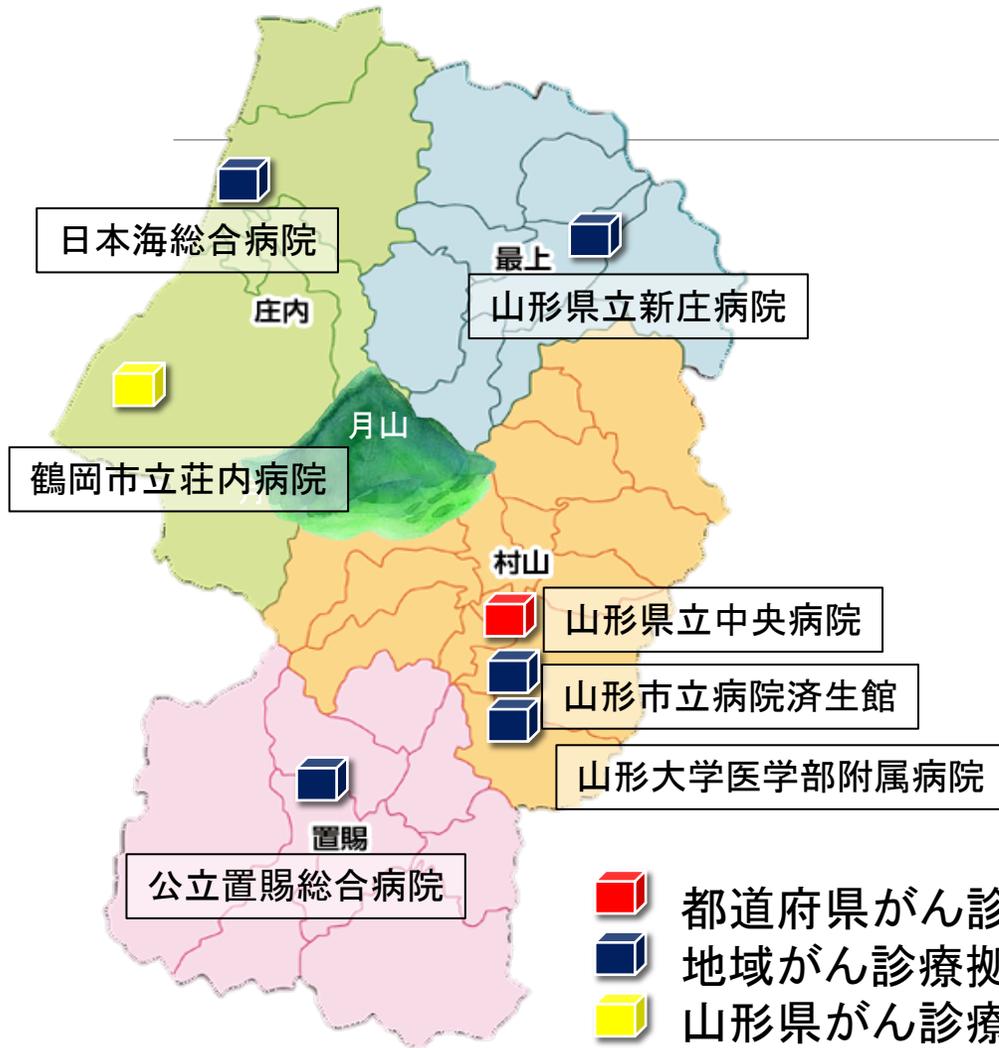


山形県がん診療連携協議会 がん患者相談室部会の 取り組み

山形県立中央病院
稲村みどり



山形県の地域特性とがん診療拠点病院



地域特性

- 県の中央部には月山があり、内陸（最上・村山・置賜）と庄内に分かれている
- がん診療拠点病院の設置について二次医療圏でみると、村山（すべて山形市内）に集中している



がん患者相談室部会設立の経緯

厚生労働省の「がん診療連携拠点病院の整備に関する指針」を踏まえ、平成20年3月山形県がん診療連携協議会が設置。

「がん登録部会」「研修教育部会」「緩和ケア部会」「情報連携部会」



各部会の活動の充実のために部会の細分化を図るため

「地域連携パス部会」

「情報連携部会」



「がん患者相談室部会」



がん患者相談室部会の目標と活動

目標

- ①すべての相談支援センターにおいて、国立がん研究センターによる研修を修了した相談員を配置し、相談支援機能の充実・強化を図る
- ②すべてのがん診療連携拠点（指定）病院において、診療実績、専門的にがん診療を行う医師及び臨床試験の実施状況に関する情報等を、がん患者・家族等の分かり易い形で提供すること

活動

- ①年1回の会議～今年度より2回開催予定
- ②メーリングリストを活用しての情報共有
- ③相談員のスキルアップのための研修会



それぞれの拠点病院での取り組み

○相談支援センターの場所の配置の工夫

受付近くの分り易い場所に設置、常に相談に応じられるよう人員の配置等

○外来・病棟との連携強化～各種会議・カンファレンスへ参加し情報交換、 外来受診時に訪問し相談を受ける

○相談室の周知～病院の催しの機会にブースを設置、電光掲示板への掲示

○がんサロン開催

○県の取り組みを受け、各相談会開催

- ・ワンストップ相談会（治療・就労・外見上の悩みに関すること）
- ・ハローワークと共に、出張就職相談会（県立中央病院）



山形県での取り組みについて

○医療用ウィッグ購入費助成事業

- ・平成26年度開始
- ・県全体としては全国初
- ・助成金：2万円または購入経費の1/2の額のいずれか低い額

がん診療連携協議会からも上限額アップの要請

- ・助成回数：一人につき1回
- ・助成対象：就労や社会参加のために購入したもの



※在宅で来客と面談するために必要となり購入した場合も対象となる

○アピアランス相談支援員養成事業

- ・がん患者の治療に伴う外見上の悩みに対処できる人材の養成
- ・薬剤性脱毛サポート美容師研修会費用補助
- ・美容師による生活の質の向上のためのサポート

活動例

- ・研修を受けた看護師によるアピアランス研究会発足、勉強会や相談サロン開催



ウィッグ・補正下着・メイク・リンパ浮腫などのブースを設置、
それぞれ専門の担当者より説明



Hair Support Yamagata
山形県薬剤性脱毛サポート協議会



皆様が美しく活躍できるように
専門の研修を受けられた美容師が
明るい笑顔でささえます

人が美しくあるために

